



2026 年 10 月 15 日

各 位

会 社 名 abc 株式会社
代表者名 代表取締役社長 松田 元
(コード：8783、スタンダード市場)
問合せ先 経営企画部 部長 谷井 篤史
<https://www.abc.co.jp/form/corp/>

**連結業績における営業損失、営業外費用及び特別損失の計上並びに
連結業績の当期予想値との差異に関するお知らせ**

当社は、本日開催の取締役会において、2026 年 8 月期（2025 年 9 月 1 日～2026 年 8 月 31 日）における連結業績と当期予想値との差異に関するお知らせ並びに営業損失、営業外費用及び特別損失を計上しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業損失の計上

当社は、過年度より投融資事業において様々な事業会社等への営業貸付を行っておりますが、2026 年 8 月期において、過年度の貸付実績に基づいて営業貸付金債権全体を評価し、貸倒引当金として 881 百万円を計上しております。

なお、個別に回収可能性が著しく低いと判断したものについては長期滞留債権として評価しております。

2. 営業外費用の計上

株主優待ポイント付与に伴う引当金繰入額 456 百万円を営業外費用として計上しております。

3. 特別損失の計上

当社はブロックチェーン開発企業である Metabit. SDN. BHD.（マレーシア）を子会社とする Metabit 株式会社を 2025 年 10 月に子会社化しておりますが、超過収益力として計上しているのれん及び当社 WEB3 事業に係るソフトウェアに関して将来の回収可能性を検討した結果、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損損失 1,277 百万円（うちのれん 1,210 百万円）を特別損失に計上しております。

また、当社が保有する投資有価証券の期末評価から投資有価証券評価損 249 百万円（うち資本業務提携先に係るもの 171 百万円）、特定の事業及び上場企業への投資に関する共同事業出資に関する出資金評価損 961 百万円も特別損失として計上しております。

4. 2026 年 8 月期（通期）連結業績と当期予想値との差異

（単位：百万円、円・銭）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
当期予想値 (A)	2,222	△2,143	未定	未定	-

当期実績値(B)	2,603	△3,088	△6,580	△7,816	△211.52
増減額(B-A)	381	△945	—	—	—
増減率(%)	17.1	—	—	—	—

5. 差異の理由

売上高につきましては、2026年7月15日の業績予想修正時において、連結子会社であったネクスト・セキュリティ株式会社の株式譲渡に伴う連結除外の影響を織り込んでおりましたが、同社株式の譲渡実行日が2026年8月31日となり、同社の当連結会計年度の損益を通期で連結損益計算書に含めたことなどにより、当期予想値を上回りました。

営業損益につきましては、上記1.に記載のとおり、投融資事業において営業貸付金債権全体の回収可能性を改めて評価し、貸倒引当金繰入額881百万円を販売費及び一般管理費に計上したことなどにより、当期予想値から営業損失が拡大いたしました。

経常損益及び親会社株主に帰属する当期純損益につきましては、保有暗号資産の最終的な処分価格等について合理的な算定が困難であったことから、業績予想修正時には「未定」としておりました。

当社グループは、2026年7月6日開催の取締役会において暗号資産ディーリング事業からの全面撤退を決議し、2026年8月末までに保有暗号資産の売却・処分をすべて完了いたしました。

第3四半期連結会計期間末において保有していた暗号資産の多くは活発な市場が存在しないものであり、市場への影響や流動性を勘案しながら処分を進めた結果、同期間末の評価額を大きく下回る価額での処分となりました。

これにより、暗号資産売却損744百万円及び暗号資産評価損1,962百万円を営業外費用に計上したほか、上記2.に記載の株主優待ポイント付与に伴う引当金繰入額456百万円を営業外費用に計上したことなどから、第3四半期連結累計期間では経常利益657百万円を計上しておりましたが、通期では経常損失6,580百万円となりました。

また、暗号資産受贈益577百万円及び関係会社株式売却益153百万円等の特別利益864百万円を計上した一方で、上記3.に記載ののれん等の減損損失1,277百万円、出資金評価損961百万円及び投資有価証券評価損249百万円等の特別損失2,563百万円を計上したことなどにより、親会社株主に帰属する当期純損失は7,816百万円となりました。

当社グループは、価格変動リスクを伴う暗号資産のディーリング（運用）業務から全面的に撤退しており、今後は法定通貨による安定的な収益を生み出す事業に経営資源を集中してまいります。

なお、2027年8月期の連結業績予想につきましては、本日公表の「2026年8月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」をご参照ください。

以 上